

2011年度第4回 煙制御設計小委員会 議事録(案)

記録担当 山田 茂

- A. 日時 2012年3月14日(水) 18:00~19:45
B. 場所 建築会館 201会議室
C. 出席者 森山、山田常、鈴木、油野、栗岡、山田茂 計6名(順不同、敬称略)
D. 配布資料
- ・資料0: 前回議事録(中濱)
 - ・資料1: 空衛学会 押出排煙設計マニュアル抜粋(森山)
 - ・資料2: 押出排煙の計算シート(山田茂)
 - ・資料3: 押出排煙給気量調査 中間報告 2008年(森山)
 - ・資料4: 煙指針(案)の改訂について 2012.02.06(山田)

E. 審議事項

1. 前回議事録の確認(資料0)

- ・承認された。

2. 防火委員会(3月14日)の報告

- ・調査研究委、論文集委、技術報告集委などの担当委員が任期を迎えたので交替する。現委員から新委員候補に連絡をし、承認を得られたら正式に推薦する。
- ・東日本大震災の報告書をAIJでまとめる。長谷見委員長。防火関連は北後先生が担当する。
- ・和田章会長から、各委員会HP更新の指示あり。小委でも担当者を決めなければならない。
- ・田中防火委員長が3月末で任期を迎えるため、新委員長選出の選挙を行った。新委員長は山田常圭教授。
- ・4月25日(水)13:00から大会PG編成委員会。
- ・(防火委員会とは無関係だが)田中先生より、煙指針を英訳して欲しいとの要望があった。

3. 東京消防庁の押出排煙の審査基準に関して(資料1~3)

- ・1週間ほど前に、東京消防庁予防課渡邊敬介氏から森山主査に、下記のような問い合わせがあった。
 - ・地下駐車場などで消防排煙として押出排煙形式を採用する場合に必要な給気機の性能について、消火活動拠点内の給気口、排煙口のいずれかの部分で風量を指定する予定。具体的には、空衛学会の押出排煙マニュアルにある「給気口の通過風量を10,000CMH以上とする」レベルで検討している。これは一般的な押出排煙設計時の設計風量より大きいと思われるが、困難が予想されるかどうか等現場への影響について意見を聞きたい。
- ・マニュアルでは、付室機械排煙の仕様規定と同等の性能を確保するには、押出排煙の場合10,000CMH程度は必要であることを示している。
- ・森山主査から資料1、3を提出し、条件によっては10,000CMH以上では押出排煙の告示では設計できない場合があることを説明した。
- ・今週、山田茂に、清水建設野竹氏より同じ質問があった。野竹氏は東京消防庁に対し、山田作成の資料2を提示し、森山氏とほぼ同じ回答をしている。
- ・「予防事務審査・検査基準」に記述されると思われる。森山主査がその後の経過をヒアリングし、現場が困難するような基準にならないように働きかけることとした。(⇒4月16日森山主査が東京消防庁に口頭で提案した。山田茂からも東京消防庁中村氏に説明した。)

4. 指針改訂(資料4)

(1) 基本方針

- ・大筋は資料4に基づく。
- ・2章は簡素にしたい。加圧の詳細な式は、計算例のみならず計算手順も新7章に移動する。
- ・付録に、近年の雑居ビル火災の事例を追加する。

(2) 担当者

- ・自薦・他薦で下表とする。ただし、欠席者については了承を得られてから正式決定となる。

章	主担当	副担当
1	長 岡	広田
2	山田茂	山名、長岡
3	油 野	森山、山名
4	峯 岸	栗岡、淡野、広田 ^{注1)}
5	鈴 木	山口
6	山田常	秋月
新7	中 濱	森山、山田茂
付録	仁 井	鈴木
全体監修	大 宮	

注1) 前回、最新のものに差し替えられなかった図があるので、それを広田委員が提出する。

注2) 仁井委員が火災案件を指定し、山田茂が学会事務局を通して新聞社から写真を購入する。

(3) 作業の手段

(3.1) 前回、脱稿後の作業の推移

- ・小委員会が提出した原稿（MS-Wordファイル）は、印刷会社のInDesignという編集ソフト上で展開し、その後の数度にわたり事務局及び著者による字句や数式の修正、図の修正、差し替えを行った。
- ・InDesignで編集したファイルをMS-Wordに逆変換すると、文章や図表に文字化けやずれ等の不具合が生じてしまうということがわかった。
- ・従って、最終原稿をMS-Wordファイルで受け取ることはできない。
- ・入手できるのは、印刷直前の文章・図表・レイアウトを保持したpdfファイルだけ。

(3.2) 改訂作業の進め方

- ・加筆・修正の分量が少ない場合は、手元にある単行本やpdfファイルの出力紙に改訂に伴う修正や差し替えが必要な場所を明記し、直接出力紙に書き込む。
- ・分量が多い場合は新しい文章や図表のデータを提供する。
- ・その後の修正作業とレイアウトは印刷所で行う。
- ・テキスト形式でも最終版があれば便利なので、事務局に再度依頼してみる。（担当：山田茂）

5. 次回までの宿題

- ・山田茂から、これまでの関係資料を全委員にmailで送信する。
- ・各委員は、目次（案）をフリーフォーマットで提出。

以上

次回の委員会は、2012年4月26日（木）18:00～20:00、本会会議室で開催します。

議題 (1) 煙制御計画指針の改訂版資料検討

(2) その他

(社)日本建築学会 〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 TEL 03-3456-2051 FAX 03-3456-2058